

西明寺のトラノオモミ (さいみょうじのとらのおもみ)

米沢市遠山町1561-1

米沢市遠山の最明寺境内にある虎尾樅 (とらのおもみ) の巨木で、根周 3 m、樹高およそ 22 m、樹齢およそ 三百年といわれている。虎尾樅は松科に属し、わが国中部以南に自生するが、この樹は米沢藩主上杉綱勝公が夫人媛姫の病気全快を祈願して会津から取り寄せ、この地、遠山薬師堂脇に手植えたものと伝えられている。

遠山薬師堂は、万治 3 年 (1660 年) 綱勝公が再建されたものである。昭和 31 年 11 月山形県天然記念物に指定されている。
〔山形県森林協会〕



(案内略図)



山形県指定文化財(天然記念物)
さいみょうじ
西明寺のトラノオモミ
昭和三十一年五月十日指定

虎尾樅の巨木で、根まわり三メートル、高さはおよそ二十二メートルで樹齢三〇〇余年といわれている。虎尾樅は松科に属し、わが国中部以南に自生するが、この樹は米沢藩主上杉綱勝公が夫人媛姫(会津藩主、保科正之の娘)の病気全快を祈願して会津から取り寄せ、この地、遠山薬師堂脇に手植えたものと伝えられている。

西明寺は慶長年中(慶長年間)は、五九六年(一六四〇年)上杉家存続とともに遠山から会津、さらに米沢に移った寺であり、遠山薬師堂は万治三年(一六六〇年)四月八日、綱勝公が再建されたものである。

山形県教育委員会
米沢市教育委員会